第二章　耕作ニ關スル事項

第一　飼料栽培ニ關スル事項

(一)　明治四十三年栽培成績概要

明治四十三年一月以降收穫セシ作物ハ前年後期作トシテ作付セシ大麥、小麥、燕麥、高黍、甘藷及蕪菁ノ六種ニシテ播種後時々降雨アリシヲ以テ土壤常ニ適當ノ水濕ヲ保有シ各種作付物概シテ發芽後ノ發育状況良好ナリシモ本年ニ至リ降雨殆ントナク爲メニ土壤乾燥ニ過キ鮮カラサル旱害ヲ蒙ルニ至レリ殊ニ保水力乏キ砂土ニ播種セシ禾穀類(大、小、麥)ノ如キハ其被害一層甚シク成育遲々トシテ不整加フルニ東北風ノ荒ム處トナリ僅カニ四、五寸ニシテ抽穗開花スルニ至レリ收穫ハ二月ヨリ四月ニ亘リ黃熟ノ期ヲ俟テ種實用トシテ收穫セシニ其成績平年ヨリ二割五分ノ減收ヲ見ルニ至レリ

然レドモ濕地ニ播下セシ根菜類及青刈用牧草類ハ旱害ヲ免レ豫期以上ノ豐收ヲ得タリ

本年前期栽培飼料作物ハ四月ヨリ七月ニ亘リテ播種セリ其作付總面積ハ三十一町四反八畝十歩ナリ其内譯左ノ如シ

作物種類	作付反別(町 反 畝 歩)	作物種類	作付反別(町 反 畝 歩)	作物種類	作付反別(町 反 畝 歩)
青刈用大豆	四、四、六、二三	甘藷	七、一、一、〇四	玉蜀黍	一、五、七、二五
乾草用大豆	二、八、八、〇〇	青刈用高黍	四、八、〇、〇〇	ジョンソングラス	四、五、五、二九
種實用大豆	二、九、九、二三	青刈用テオシント	一、一、〇、〇七	アルファルファ	一、九、八、一九

以上ノ作物ハ播種後何レモ適度ノ温濕ヲ受ケ發芽竝ニ生育状況頗ル良好ニシテ殊ニ新墾地ニ栽植セシ「テオシント」ノ如キハ八月二十九日ヨリ同三十日ニ至ル暴風雨ニ遇ヒ倒伏シ尠カラサル損害ヲ蒙リシニモ拘ハラズ其後ノ天候ニ由リ大ニ挽回セシヲ以テ九月十四日(生育日數百二十日)「エンシレージ」用トシテ收穫セシニ當時草丈平均六尺ニ達シ一株十數本

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

農業部農業試驗所

ニ分蘖シ反當平均六百五十貫匁ノ豐收ヲ得ルニ至レリ、甘藷ハ本期ニ於テハ主トシテ本島在來種中ノ優良種風吹鄙及紅皮ノ二種ヲ栽培セシニ是又順調ナル發育ヲ遂ケ新墾地栽植ノモノヽ如キハ反當平均塊及莖葉五百八十貫ノ收穫ヲ見ルニ至レリ、高黍、大豆、玉蜀黍モ又七月ヨリ十月ニ亘リテ收穫シ相當ノ成績ヲ得タルモ唯成育期中野兎、野豚及民豚ノ侵入ヲ受ケタル個所ハ其被害著シク殆ンド半收穫ニ達セズ中ニハ無收穫ニ終リシ處アリ、此等害獸ニ對シテハ威嚇銃ヲ使用シ且ツ夜間監視ヲ附シテ極力豫防セシモ猶前記ノ被害ヲ蒙ルニ至リシハ遺憾トスル處ナリ

栽培牧草中「ジョンソングラス」ハ前年未收穫以來乾燥期ニ入リ降雨殆ンドナク土壤過乾ヲ來タシ各區ノ發芽例年ヨリ遲延セシモ四月以降潤澤ナル降雨ニ逢ヒシヲ以テ忽チ新芽ヲ抽出スルニ至リ以後ノ發育又頗ル良好ニシテ六月下旬ヨリ七月中旬ニ亘リ開花期ヲ俟チ「サイズ」(草刈大鎌)ニテ第一回收穫ヲナセリ其後亦時々降雨アリ生育可良何レモ相當ノ成績ヲ以テ七月上旬ヨリ八月上旬ニ亘リ第二回、九月下旬ヨリ十月上旬ニ亘リテ第三回ノ收穫ヲナセリ

「アルファルファ」ハ六月播種セシニ種子不良ノ爲メ發芽歩合甚ダ少キノミナラズ生育又著シク不良ニシテ除草灌漑等周到ナル注意ヲ施セシニ拘ハラズ自然ニ萎凋枯死シテ收穫ヲ見ルニ至ラズ

本島在來野草ニシテ飼料ニ適スル種類少カラズ本場ニ於テハ從來內外各種ノ牧草ト共ニ是等在來野草ノ栽培試驗ヲ行ヒ來リシニ荳科野草ノ「マルバタケハギ」ハ能ク瘠薄ノ土地ニモ繁茂シ且ツ乾燥ニ耐ユル性強ク而モ動物ノ最モ嗜好スル飼料ノ一ナルヲ認メタルヲ以テ本年ヨリ普通圃場ニ之ガ栽培ヲ試ミタリ本年ハ栽培日猶淺ク未タ成績ヲ發表スベキ時機ニ達セザルモ將來牧草トシテ頗ル望ミヲ囑スルニ足ルモノアリ

本年後期作付飼料作物ハ大麥、小麥、燕麥、甘藷、蕪菁及菾菜等ニシテ其作付總反別ハ十八町一反七畝歩ナリ、本期ハ當地方乾燥期ニシテ例年雨量甚ダ少ナク殊ニ本年ハ十月以降僅カニ三回ノ小降雨アリシノミ之ガ爲メ圃場ノ表土乾燥スルコト著シク作付上非常ノ困難ヲ來タセシノミナラズ一般ニ作付期ノ遲延ヲ來タセリ播種後ノ發芽及生育狀況ハ氣候過

乾ノ爲メ概シテ不良ナルモ蕪菁及菾菜ハ河水ノ灌漑ヲ行ヒシ結果發育稍ヤ旺盛ノ狀ヲ呈シ今後適度ノ降雨ダニアラバ來期ニ至リ十分ノ豐收ヲ得ベキ見込アリ

(二) 明治四十四年栽培成績概要

四十三年十月以降ノ作付ニ係ル飼料作物ハ本年一月ヨリ五月ニ亘リテ收穫ヲ了セリ即チ大麥、小麥、燕麥、甘藷、蕪菁及菾菜等ニシテ其作付面積ハ拾八町一反餘トス是等作物ノ播種及挿植ハ前記ノ如ク降雨ナキ爲メ例年ヨリ一般ニ一ケ月乃至二ケ月ノ遲延ヲ來タシ且ツ本年ニ入リテモ降雨少ク旱害ヲ蒙ルコト尠カラズ大小麥及燕麥ノ收穫ハ著シク減少ヲ來セリ但シ第四區及灌漑ノ自由ナル水源地區ニ作付セシ燕麥ハ發育頗ル旺盛ニシテ草丈平均四尺ニ達シ四月上旬穗揃ヲ見ルニ至リシヲ以テ一部ヲ刈取リ乾草トシ一部ハ採種用ニ供セリ、甘藷ハ挿植當時旱天打續キ挿苗ノ三分ノ一枯死セシヲ以テ更ニ補植ヲ行ヒシモ其後ノ旱天ト強風ノ爲メ生育不良加フルニ野豚ノ侵入ヲ蒙リ著シク減收ヲ見ルニ至レリ、菾菜及蕪菁ハ灌漑ヲ行ヒシ爲メ生育頗ル佳良ナリシモ蕪菁ハ蚜蟲ノ發生スル處トナリ著シク減收ヲ來タシ菾菜ハ相當ノ收穫ヲ得タリ

本年前期作付飼料作物ハ三月ヨリ八月ニ亘リテ播種及挿植ヲ了セリ其作物ノ種類及作付面積ハ左表ノ如シ

作物種類	作付反別（町反畝歩）	作物種類	作付反別（町反畝歩）	作物種類	作付反別（町反畝歩）
テオシント	三、〇、八、一七	玉蜀黍	二、六、四、一二	落花生	一、〇、〇、〇〇
アルファルファ	二、四、四、 八	高黍	三、二、七、一三	甘藷	三、五、六、〇六
ジョンソングラス及マルバタケハギ	六、〇、八、二一	大豆	一四、七、〇、一六	計	三六、八、〇、〇三

以上各種作物ノ成績概要ヲ記スレバ左ノ如シ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

「テオシント」ハ生育頗ル旺盛ニシテ平均草丈六尺最高八尺餘ニ達スルモノアリ「エンシレージ」用ノ分ハ八月上旬ヨリ同中旬ニ亘リ收穫セリ採種用ノ分ニシテ早播ノモノハ八月下旬ノ暴風雨ニ遭遇シ全部倒潰摧折シ殆ド收穫ヲ見ル能ハザリシモ播種ノ晩キ部分ハ比較的暴風被害少ナク且ツ追肥施用ノ結果稍ヤ勢力ヲ挽回シ十月中ニ採種ヲ了セリ

玉蜀黍ハ發芽及生育良好ニシテ大部分ハ青刈用トシ一部分ハ採種用トシテ收穫セリ

高黍ハ發芽生育共ニ佳良ニシテ六月下旬ヨリ八月初旬ニ亘リ前後三回刈取リナシ平年作以上ノ收穫ヲ見タリ

大豆ハ當地ニテ青刈用乾草用種實用ノ何レニモ好適シ且ツ飼料トシテノ滋養價値ハ遙ニ他ノ普通飼料ニ優ルヲ以テ本期ハ前表ニ掲ケシ如ク其作付面積ヲ增加シ十四町歩餘ニ達セリ播種後ノ發芽及生育共ニ良好ナリ發育ノ初期ニ於テ多少野豚ノ被害アリシニ拘ハラズ青刈及乾草トシテ相當ノ成績ヲ收メ得タリ

甘藷ハ挿植後ノ生育敢テ不良ナラザリシモ野豚ノ侵害ヲ蒙ルコト著シク加フルニ八月下旬恰モ收穫前ニ當テ大暴風雨ニ遭遇シ圃場ニ雨水浸入停滯シ爲メニ根塊ノ腐敗ヲ來タスコト少カラズ其結果著シク減收ヲ來タセリ

本期作付中ノ牧草類ハ前年ト同ジク「ジョンソングラス」「アルフアルフア」及ビ「マルバタケハギ」ノ三種トス

「ジョンソングラス」圃ノ大部分ハ播種後既ニ兩三年ヲ經過シ此間每年三回乃至五回宛ノ收穫ヲナシ來リシヲ以テ其宿根相交叉シ古株ハ結着衰耗シ且ツ野草ノ侵入スル處トナリ收穫次第ニ減少スルヲ以テ本期ニ於テ採種區ヲ除クノ外ハ全部犂起更新シ更ニ播種ノ際或部分ニ大豆及「マルバタケハギ」ト混播セシニ早播ノ地域ハ頗ル旺盛ナル發育ヲ遂ケ本年內既ニ一回ノ收穫ヲ見タリ晩播ノ部分モ頗ル生育良好ナリ

「アルフアルフア」ハ一月初旬ヨリ二月ニ亘リ播種セシニ發芽整齊生育亦佳良ニシテ五月中旬ヨリ六月初旬ニ亘リ第一回ノ收穫ヲナシ七月下旬ヨリ八月中旬ニ亘リ更ニ第二回ノ收穫ヲナセリ其收量ハ何レモ普通以上ノ成績ナリ然ルニ八月下旬ノ暴風雨後圃場ノ浸水長時日ニ亘リ爲メニ根部ノ發育ヲ阻害セラレ加フルニ圃場ノ一部分白絹病ノ犯ス處トナリ次第

ニ蔓延ノ兆アルニ由リ之ガ驅除豫防策トシテ被害植物ハ全部拔キ取リテ之ヲ燒却シ且無病健全ノ部分トノ間ニ遮斷溝ヲ設ケタリ、其後天候ノ回復ト共ニ稍發育ヲ挽回シ一時病害防止ノ觀アリシモ遂ニ第三回ノ收穫ヲ見ルニ至ラズシテ乾燥期ニ入リ病勢再ビ旺盛ナラントスル傾向アリシヲ以テ「ボルドー」合劑ヲ散布セシモ其効ナク遂ニ枯死スルニ至レリ然レドモ土壤常ニ適度ノ水濕ヲ保テル水源地區ニ栽培セル「アルファアルファ」ハ下種以來病害ニ犯サルヽコトナクシテ適度ニ繁茂シ六月及十一月ノ二回ニ收穫シ其後モ佳良ナル生育ヲ遂ケツヽアリ

「マルバタケハギ」ハ「ジョンソングラス」ト混播セシモノニシテ生育概シテ佳良ナリ

本年後期作付作物ノ種類及作付面積ハ左ノ如シ

作物種類	作付反別（町反畝歩）	作物種類	作付反別（町反畝歩）	作物種類	作付反別（町反畝歩）
甘藷	六、九、八、二三	菾菜	一、五、〇〇	マルバタケハギ	一、九、〇、二一
大豆	一、九、四、一〇	ジョンソングラス	四、四、四、一二	合計	一七、九、四、一三
燕麥	一、五、〇、〇〇	アルファアルファ	一、〇、一、〇七		

但シ「ジョンソングラス」「アルファアルファ」及「マルバタケハギ」ノ三種ハ前期ノ播種ニ係ル宿根牧草ナリ

本期ハ當地方ノ乾燥期ニシテ降雨少キヲ例トスレドモ本年ハ乾燥特ニ甚シク本場創立以來稀ナル旱魃ナリ從テ飼料作物作付ハ豫定ノ進行ヲ見ルニ至ラズ且ツ作付ヲ了セル作物モ或ハ發芽セザルアリ發芽後枯死セルアリ然ラザルモノモ其生育概シテ不良ナリ唯水源地區ニ作付セシ燕麥及菾菜ハ下種以來發芽齊整發育又旺盛ニシテ相當ノ收穫ヲ得ベキ見込アリ

（三）明治四十五年栽培成績概要（大正元年ヲ含ム）

前年後期作付ニ係ル飼料作物中甘藷「マルバタケハギ」燕麥及菾菜ハ本年一月ヨリ四月ニ亘リテ收穫ヲナセリ

前記ノ如ク昨冬乾燥期ニ入リテ以來降雨殆ドナク之ガ爲メニ栽培事業ハ豫定ノ進行ヲ見ルコト能ハズ既ニ作付面積ニ於

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

テ例年ノ半バニ過キズ加フルニ圃場ノ作物旱害ヲ蒙ムルコト甚シク從テ其收穫甚ダ少額ナルヲ免レザリキ殊ニ甘諸及燕麥ノ一部ハ河水灌漑ヲ施セシニ拘ハラズ遂ニ枯死シテ全ク收穫ヲ見ルニ至ラズ但シ灌漑ノ最モ自由ナル耕地ニ作付セシ燕麥及蕪菜ハ發芽整齊生育又可良ニシテ其生長ノ旺盛ナルコト恰モ北海道地方ニ於ケルガ如ク殊ニ燕麥ノ分蘖力ニ至リテハ著シク盛ナルモノアリテ一株能ク數十本ノ分蘖ヲナシ草丈五尺以上ニ達セルモノアリ即チ穗揃期ヲ俟チテ刈取リ大部分ハ青刈ノ儘飼料ニ供シ一部ハ乾草トナセリ今其青刈ノ坪刈試驗ニ由レバ最大量三貫百六十匁、最少量一貫二百八十匁即チ反當換算量最大九百四十八貫最少三百八十四貫平均六百六十六貫ナリ

本年前期ノ飼料作物ハ五月ヨリ八月ニ至ル四ケ月間ニ亘リテ作付ヲ了セリ其種類及作付面積ハ左ノ如シ

作物種類	作付反別	作物種類	作付反別	作物種類	作付反別
	町 反 畝 歩		町 反 畝 歩		町 反 畝 歩
大豆（烏豆）	一三、五、〇、二五	甘諸	六、二、〇、二五	ジョンソングラス	八、八、四、一四
テオシント	五、九、九、一八	ギニアグラス	二、〇〇	合計	四二、〇、七、二二
高黍	二、八、六、一六	アルファルファ	六、〇〇		
玉蜀黍	一、五、一、二一	マルバタケハギ	二、三、三、二三		

以上各種作物ノ成績ヲ概述スレバ左ノ如シ

大豆ハ播種後ノ生育狀況共ニ良好ニシテ平年作以上ノ收穫ヲ得タリ「ラオシント」ハ生育最モ佳良ニシテ草丈六尺以上ニ達シ半バ倒伏ヲ來タスニ至レリ二回乃至三回ノ刈取リヲ行ヒ一部ハ青刈ノ儘飼料ニ供シ一部ハ「エンシレージ」トナセリ高黍ハ本島在來種ニシテ性强健、他作物ノ適セザル重粘土ニモ相當ノ生育ヲナスヲ常トス本期栽培ニ係ルモノハ其生育期間ニ數回ノ刈取ヲナシ或ハ青草ノ儘飼料ニ供シ或ハ「エンシレージ」ノ製造ニ供セリ、玉蜀黍ハ内地產ニ係ル「ロングフエロー」北海道產ニ係ル「ロングフエロー」及甲州種ノ三種ニシテ發育ノ最モ良好ナルハ甲州種トス即チ草丈平均五尺

以上ニ達セリ內地產「ロングフエロー」之ニ次キ北海道產「ロングフエロー」最モ劣レリ收穫セル玉蜀黍ノ大部分ハ前記「テオシント」ト共ニ「エンシレージ」ノ製造ニ供セリ、甘藷ハ挿苗後時々降雨アリテ活着及生育甚タ良好ニシテ例年見ザル處ノ豐產ヲ得タリ

「アルフアルフア」ハ累年試作ノ結果多數ノ荳科牧草中最モ當地ノ如キ熱帶地ニ好適セル牧草ノ一種ナルヲ確メ前年度來普通圃場ニ廣ク栽培ヲ行ヒ來リシニ下種後一般ニ發芽良好爾後ノ生育亦頗ル見ルベキモノアリ唯從來ノ經驗ニ由ルニ播種後一、二年ヲ經過スルニ從ヒ漸次草質衰ヘ遂ニ疾病ニ犯サレ枯死スルモノ往々之アルヲ以テ之ガ病害驅除豫防ニ極力周到ナル注意ヲ以テ種々ナル方法ヲ講ジツヽアルモ未ダ適當ノ方法ヲ發見スルニ至ラズ

「マルバタケハギ」ハ前年度來ノ實驗ニ由リ荒蕪地及瘠地利用作物トシテ頗ル有望ナルヲ認メタルニ由リ本年ハ前表ニ示セシ如ク栽培地積ヲ增加シテ二町三反歩餘ニ達セシノミナラズ地力瘠薄ニ傾ケル圃場ヲ其栽培地ニ充テ播種ヲ試ミタリ播種ノ方法ハ散播器(シードソワー)ヲ用ヒ反當五英斤ノ割合ニテ種子ヲ撒播シ柴把撈ニテ縱横ニ一回宛覆土セリ播種後强雨ノ爲メ播下種子ノ流失セルコト鮮カラザリシニ拘ハラズ殘部ハ整一ナル發芽ヲナシ爾後ノ成育頗ル佳良ニシテ草丈四尺餘ニ達シ分蘖數十本ニ及ビ其密生ノ狀況實ニ見ルベキモノアリ收穫ハ開花前莖葉ノ未タ硬化セザル中ニ行ヒテ乾草トナセシニ反當平均百八十貫匁ノ豐收ヲ得タリ

「ジョンソングラス」ハ本期作付面積八町八反歩餘ニシテ之ヲ前年ノ作付面積ニ比スレバ三町七反歩ノ增加トス且ツ舊圃場ハ昨年犂耕更新ヲ行ヒシヲ以テ成育旺盛豫期以上ノ收穫ヲ得タリ

本年後期飼料作物ハ十月ヨリ十二月ニ亘リ其作付ヲ了セリ其種類及作付面積ハ左ノ如シ

作物種類	作付反別	作物種類	作付反別	作物種類	作付反別

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

	町反畝歩		町反畝歩		町反畝歩
燕麥	六、一、九、二二	高黍	四、五、〇〇	パールミレット（採種用）	二、一、〇八
甘藷	一五、四、八、〇	ギニアグラス	二、〇、〇〇	テオシント（採種用）	八、五、一八
ピート	三、一、二、一七	ジョンソングラス（宿根）	八、二、九、〇五	合計	三六、七、五、一〇
蕪菁	一、三、八、二一	マルバタケハギ（採種用）	五、五、〇九		

今左ニ是等各種作物ノ下種或ハ挿苗當時ヨリ本年十二月下旬ニ至ル迄ノ成績一般ヲ概記センニ例年十月ヨリ翌春二三月ニ亘リ當地方乾燥期ニシテ一般ニ降雨寡少ナル時期ナルニ係ハラズ本年ハ稀ニ見ル處ノ順當ナル降雨アリ從テ下種後一般ニ發芽整齊又挿苗ノ活着甚ダ良好ニシテ爾後ノ成育狀況亦甚ダ佳良ナリ且ツ例年見ル處ノ害蟲ノ發生モ極メテ少ナク今後ノ天候ダニ變調ヲ來タサザルニ於テハ來春收穫期ニハ其成績大ニ見ルベキモノアルニ至ラン

採種用ニ係ル「テオシント」「マルバタケハギ」「パールミレット」ノ三種ハ前期ノ栽培ニ係リ十一月中旬ヨリ十二月中旬ニ亘リ採收ヲ了セリ即チ「テオシント」一石八斗四升餘、「マルバタケハギ」五斗二升餘、「パールミレット」三石五斗七升餘ヲ得タリ

（四） 開墾ニ關スル事項

本場種畜ノ增殖ニ伴ヒ益々飼料栽培地擴張ノ必要生シ年々比較的農閑ノ時期ヲ撰ビ場內樹林地及草生地ノ開墾ヲ行ヒタリ今明治四十三年ヨリ四十五年ニ至ル各年ノ開墾地積ヲ揭クレバ左ノ如シ

年次	開墾面積（町反畝歩）	年次	開墾面積（町反畝歩）
明治四十三年	三、三、二、一五	同四十五年 大正元年	三、八、一、二五
同四十四年	二、〇、〇、〇〇	計	九、一、四、一〇

第二　牧草及飼料作物栽培試驗ニ關スル事項

一供試作物及牧草ノ種類

(イ) 禾本科ニ屬スルモノ (十二種)

ロングフエロー、フリントコーン

ゴール、デンビユーテイ、デントコーン

ホロイトパール、ポツプコーン

ホワイン、フリントコーン

大種白色フリントコーン

バラテ

ハンガリアン、ミレツト

バルクタータリアンオート

ロングスホワイトタリターオート

プローブスタイエル、オート

リンコルン、オート

インプロテツトグライデスデエールオート

(ロ) 荳科ニ屬スルモノ (三種)

カウピー

ベーヘツト、ビーン

タール（印度産）

（ハ）藜科ニ屬スルモノ（一種）

オーストラリアン、ソルトブッシュ

一整地　鍬ヲ用ヒテ三回耕鋤ノ後土壤ヲ膨軟ナラシメ土塊ノ細碎セザルモノハ之ヲ木槌ニテ打チ碎キ土塊ノ細碎均一ヲ計リ且ツ「シーキ」ヲ用ヒテ平坦ニ搔キ均シタリ

一畦幅　二尺五寸

一播種法　條播

一肥料

基肥反當施用量

種類／肥料	禾本科	荳科
堆肥	三〇〇、〇〇〇貫	三〇〇、〇〇〇貫
大豆粕	五、〇〇〇	五、〇〇〇

種類／肥料	禾本科	荳科
木灰	五、〇〇〇貫	一〇、〇〇〇

以上ヲ基肥トシテ施シタル後薄ク覆土シ下種ノ後再ビ適度ノ覆土ヲナシタリ

播種期日及發芽表

種類	播種期	發芽期	發芽所要日數	發芽歩合
ロングフエロー、フリント、コーン	七月四日	七月十三日	十日	約五〇、%
ゴールデン、ビユーテイ、デントコーン	同	七月十五日	十二日	〃六〇、%

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ホワイト、パールポツプコーン	七月四日	七月十五日	十二日	約三〇、%
ホワイト、フリントコーン	同	七月十四日	十一日	〃三〇、%
大種白色フリントコーン	同	七月十四日	十一日	〃五〇、%
バラテ	同	—	—	發芽セズ
ハンガリアン、ミレツト	同	七月十三日	十日	約九〇、%
バルクターリアンオート	同	七月十二日	九日	〃六〇、%
ロングスホワイトタリター、オート	同	同	九日	〃六〇、%
プローブスタイエル、オート	同	同	九日	〃五〇、%
リンコルン、オート	同	同	九日	〃六〇、%
インプロテツト、グライテスデエール、オート	同	同	九日	〃六〇、%
オーストラリアンソルトブツシユ	同	—	—	發芽セズ
カウピー	同	七月十四日	十一日	約八〇、%
ベーヘツトピーン	同	—	—	發芽セズ
タール	同	七月十五日	十二日	〃八〇、%

生育狀況及收量ヲ表示スレバ左ノ如シ

種類	試作坪數	莖長	收穫期	收量	反當收量	備考
ロングフエロー、フリントコーン	三坪	四尺五寸	九月二十五日	二合	二斗	—
ゴールデンビユーテイ、テントコーン	三坪	五尺	九月二十日	三合	三斗	—
ホワイトパールポツプコーン	三坪	五尺	九月二十日	二合	二斗	—
ホワイトフリントコーン	三坪	四尺五寸	十月三日	三合	三斗	—
大種白色フリントコーン	三坪	五尺	九月二十日	四合	四斗	—
ハンガリアンミレツト	三坪	二尺	十月五日	六合	六斗	—
バルクターリアンオート	三坪	—	—	—	—	生育中風水害ヲ被リ成績不明ニ終ル
ロングスホワイトタリターオート	三坪	—	—	—	—	同

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ブロープスタイエルオート	三坪	—	—	—	—	同
インプロテツトクライデスプエールオート	三坪	—	—	—	—	同
カウピー	三坪	—	—	—	—	同
タール	三坪	—	—	—	—	同

備考　一般ニ生育状況ノ不良ナルト生育状況ノ不明ヲ来タシタルハ八月二十九日暴風雨ニ遭遇シタルニ由ルナリ

(二)　明治四十四年試験成績

一供試作物及牧草種類

(イ)　禾本科ニ属スル作物及牧草類　(四十三種)　(場内自然生ノ野草ヲ含ム)

ウエルカム燕麦
レースホース種燕麦
ナイアガラ種燕麦
イタリアン、ライグラス
チモシー、グラス
レツトトツプ、グラス
ジヨンソン、グラス
ギニア、グラス
ゴールデンオートグラス
レツドフエスキユーグラス
ペレニアルライグラス

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

オーチヤドグラス
トールメドウフエスキユー
パールミレツト　（米國產）
メドウフエスキユウ
ケンタツキーブリユーグラス
グリーピングベントグラス
トオールオートグラス
パスパラムデラタタム
フアラリスコンミユータタム
アンドロプラゴンセリスウス
ハンガリアンミレツト　（米國產）
ロングヘーエロー　（同）
ロングホワイトフリントコーン　（同）
ホワイトパールポツプコーン　（同）
ゴールデンビユーテイデントコーン　（同）
ロングヘーローフリントコーン　（同）
玉蜀黍臺灣在來種
ゼルサレムコーン　（米國產）

オレンヂソルガム　（米國産）

高黍臺灣在來種

テオシント　（米國産）

フシゲチガヤ　（野草）

スズメノコビエ　（同）

メヒジハ　（同）

オヒジハ　（同）

ハヒキビ　（同）

ノビエ　（同）

ネズミノヲ　（同）

フタマタメヒシバ　（野草）

アブラスゝキ　（同）

ギヤウギシバ　（同）

タツノツメガヤ　（同）

（ロ）荳科ニ屬スル牧草及飼料作物　（六種）

レッドクロバー

ホワイトクロバー

アルファルファ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

マルバタケハギ

落花生

大　豆

(ハ)　十字科ニ屬スル作物　(二種)

聖護院蕪菁

御鏡蕪菁

(ニ)　藜科ニ屬スル作物　(三種)

白色畜用ビート

黄色畜用ビート

赤色畜用ビート

一整地、前年ト同ジク鍬ニテ三回耕耡ノ後土壤ヲ膨軟ナラシメ土塊ノ細碎セザルモノハ之ヲ木槌ニテ打チ碎キ土塊ノ細碎均一ヲ計リ且ツ「レーキ」ヲ用ヒテ平坦ニ均ラシタリ

一畦幅、二尺五寸

一播種及移植法、條播、點播、移植

一肥料

基肥反當施用量

種類 / 肥料	禾本科	荳科	十字科	藜科

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

堆肥	大豆粕	木灰
三〇〇、〇〇〇貫	五、〇〇〇	五、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇貫	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇貫	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇貫	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇

施肥ノ方法、基肥ハ之ヲ下種前作條溝内ニ施シ土ト能ク混耕シ然ル後薄キ覆土ヲナシタリ

播種後ノ發芽及生育狀況竝ニ收量等ヲ擧クレバ左ノ如シ

種類	試作坪數	播種期	發芽期	發芽歩合	莖長	收穫期	收量	反當數量	備考
ウエルカム	三坪	二月二日	二月九日	約九五・%	四尺五寸	五月二十日	青刈五・九七〇貫	五九七・〇〇〇貫	
レースホース	三坪	同	同	〃九〇・%	四尺三寸	五月十五日	〃五・二二〇	五二二・〇〇〇	
ナイアガラ	三坪	同	二月十日	〃九五・%	四尺三寸	同	〃五・九五〇	五九五・〇〇〇	
イタリアンライグラッツ	三坪	四月一日	四月十六日	〃三〇・%	一尺	—	—	—	枯死收穫ヲ見ス
チモシーグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	發芽セズ
レツトトツプグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同
ジョンソングラス	三坪	同	四月十二日	約一〇〇・%	六尺二寸	五月卅一日	青刈九・五〇〇	九五〇・〇〇〇	
ギニアグラス	三坪	同	四月十六日	〃一〇・%	八尺八寸	八月十日	一五・〇〇〇	一・五〇〇・〇〇〇	
ゴールデンオートグラス	三坪	同	四月十五日	〃五・%	—	—	—	—	生育中枯死
レツトフエスキユウグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	發芽セズ
ペーニアルライグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同
オーチヤドグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同
トヽルメドウフエスキユ	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同
パールミレツト	三坪	同	四月十日	約一〇〇・%	五尺九寸	六月廿九日	八・〇〇〇	八〇〇・〇〇〇	
メドーツユスキユー	三坪	同	—	—	—	—	—	—	發芽セズ
ケンタツキーブリユーグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同
クリーピングベントグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	同

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

トウルオートグラス	三坪	同	—	—	—	—	—	—	〃
パスパラムデラタタム	三坪	同	—	—	—	—	—	—	〃
ファラリスコンミユータタム	三坪	同	—	—	—	—	—	—	〃
アンドロプラゴンセリスウス	三坪	同	四月九日	約	一〇〇・%	五尺五寸	十月十九日	五・八六五	五八六・五〇〇
ハンガリアンミレツト	三坪	五月六日	五月十二日	〃	九五・%	二尺八寸	七月二日	一・二八〇	一二八・〇〇〇
ロングヘーロー	三坪	四月三日	四月十三日	〃	一〇〇・%	五尺八寸	六月廿六日	三・六二〇	三六二・〇〇〇
ロングホワイトフリントコーン	三坪	同	四月十五日	〃	一〇〇・%	七尺二寸	七月七日	五・三三〇	五三三・〇〇〇
ホワイトパールポツプコーン	三坪	同	同	〃	九〇・%	六尺九寸	六月廿九日	四・八〇〇	四八〇・〇〇〇
ゴールデンピユーテイデントコーン	三坪	同	四月十三日	〃	九〇・%	八尺四寸	七月七日	五・七〇〇	五七〇・〇〇〇
ロングヘーローフリントコーン	三坪	同	四月十四日	〃	七〇・%	七尺四寸	六月廿九日	五・四五〇	五四五・〇〇〇
玉蜀黍在來種	三坪	同	同	〃	九〇・%	八尺七寸	七月五日	五・八〇〇	五八〇・〇〇〇
ゼルサレムコーン	三坪	五月六日	五月十五日	〃	八〇・%	六尺二寸	七月廿二日	五・二〇〇	五二〇・〇〇〇
オレンヂソルガム	三坪	同	五月十四日	〃	八〇・%	七尺	同	六・一〇〇	六一〇 〇〇〇
高黍在來種	三坪	五月廿二日	五月廿九日	〃	一〇〇・%	八尺一寸	七月廿二日	一〇・一八〇	一、〇一八・〇〇〇
テオシント	三坪	四月廿四日	四月廿九日	〃	九〇・%	五尺二寸	七月三十日	九・〇〇〇	九〇〇・〇〇〇
野草フシゲチガヤ	三坪	四月十七日	四月廿三日	〃	九〇・%	三尺六寸	十月十九日	二・七〇〇	二七〇・〇〇〇
同 スヽメノコピエ	三坪	同	四月廿五日	〃	八〇・%	二尺五寸	同	二・八〇〇	二八〇・〇〇〇
同 メヒジハ	三坪	同	同	〃	九五・%	四尺	同	四・九四〇	四九四・〇〇〇
同 オヒジハ	三坪	同	四月廿二日	〃	九五・%	二尺	同	三・五九〇	三五九・〇〇〇
同 ハヒキビ	三坪	同	四月廿五日	〃	一〇〇・%	三尺三寸	同	五・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇
同 ノビエ	三坪	同	四月廿三日	〃	八〇・%	一尺八寸	同	六・〇〇〇	六〇〇・〇〇〇
同 子ズミノチ	三坪	同	四月廿七日	〃	八〇・%	三尺六寸	同	一・六三〇	一六三・〇〇〇
同 フタマタメヒシバ	三坪	同	同	〃	八〇・%	三尺五寸	同	二・二〇〇	二二〇・〇〇〇
同 アブラスヽキ	三坪	同	同	〃	九〇・%	四尺二寸	同	四・一〇〇	四一〇・〇〇〇
同 ギヤウギシバ	三坪	同	四月廿八日	〃	八五・%	二尺	同	三・六〇〇	三六〇・〇〇〇
同 タツノツメカヤ	三坪	同	同	〃	八〇・%	二尺二寸	同	一・四五〇	一四五・〇〇〇
レツトクロバー	三坪	四月二日	四月十二日	〃	八〇・%	—	—	—	—	枯死、收穫ヲ見ズ
ホワイトクロバー	三坪	同	四月十八日	〃	一・%	—	—	—	—	同前

アルファルファ	三坪	二月十日	二月二十日	〃 八〇・%	二尺八寸	五月廿二日		三・四九〇	三四九・〇〇〇
マルパタケハギ	三坪	四月二日	四月三十日	〃 一〇〇・%	三尺八寸	九月一日		四・二四〇	四二四・〇〇〇
落花生	三坪	同	四月二十日	〃 一〇〇・%	五尺	八月十九日	青刈	六・七七〇	六七七・〇〇〇
大豆	三坪	四月廿二日	五月一日	〃 九五・%	四尺五寸	七月六日	同	七・四二〇	七四二・〇〇〇
聖蕪院蕪菁	三坪	十二月十五日	十二月廿三日	〃 九五、%	二尺	三月十六日		六・五〇〇	六五〇・〇〇〇
御鏡蕪菁	三坪	同	同	〃 九五・%	二尺	同		七・八〇〇	七八〇・〇〇〇
白色畜用ビート	三坪	同	四月廿五日	〃 七〇・%	一尺一寸	七月七日		二・六四〇	二六四・〇〇〇
黄色畜用ビート	三坪	同	同	〃 八〇%	一尺五寸	同		六・六三〇	六六三・〇〇〇
赤色畜用ビート	三坪	同	同	〃 八〇・%	一尺三寸	同		六・六三〇	六六三・〇〇〇

（三）明治四十五年試験成績

一 供試作物及牧草種類

（イ）禾本科ニ屬スルモノ（三十七種）

テオシント
パールミレット
ギニアグラス
ジョンソングラス
オレンジソルガム（米國産）
ゼルサレムコーン（同）
レッドケフアコーン（同）
レッドアンバーソルガム（同）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

高黍大島種	
高黍在來種	
ハンガリアンミレット	（米國産）
ロングフエロー	（同）
ロングヘーローフリントコーン	（同）
ホワイトパールポツプコーン	（米國産）
ロングホワイトフリントコーン	（同）
ゴールデンビユウテイデントコーン	（同）
玉蜀黍在來種	
粟蕃稱ジマラバン	
同　ジマオ	
同　ザリ	
バヂリ變種ノ一	（印度産）
同　變種ノ二	（同）
同　變種ノ三	（同）
高黍印度種	（同）
燕麥印度産	（同）
フシゲチガヤ	（野草）

スヾメノコビエ　（野草）
メヒジハ　（同）
ハヒキビ　（同）
ノビエ　（同）
子ズミノヲ　（同）
フタマタメヒシバ　（同）
アブラスヽキ　（同）
ギヨウギシバ　（同）
タツノツメガヤ　（同）
ツノアヒグサ　（同）
ヒメガルカヤ　（同）

（ロ）荳科ニ屬スルモノ　（二十種）

マルバタケハギ
アルフアルフア變種ノ一　（印度產）
同　變種ノ二　（同）
同　變種ノ三　（同）
グラム　變種ノ一　（同）
グラム　變種ノ二　（同）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

同　變種ノ三　（同）

同　變種ノ四　（同）

同　變種ノ五　（同）

同　變種ノ六　（同）

同　變種ノ七　（同）

同　變種ノ八　（同）

同　變種ノ九　（同）

同　變種ノ十　（同）

同　變種ノ十一　（同）

同　變種ノ十二　（同）

同　變種ノ十三　（同）

エジプチアンクロバー　（同）

レンティル　（同）

テフマメ

（ハ）十字科ニ屬スルモノ　（二　種）

聖護院蕪菁

湖南蕪菁

（ニ）藜科ニ屬スルモノ　（五　種）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

ビート印度產變種ノ一　（印度產）
同　　變種ノ二　（同）
エルトオバート
マルサロング
チャンピオンエーロー

一整地ハ前年ト同一ナリ

一肥料

基肥反當施用量

肥料＼種類	禾本科	荳科	十字科	藜科
堆肥	三百貫	三百貫	三百貫	三百貫
大豆粕	五貫	五貫	五貫	五貫
硫酸加里	二貫	十貫	十貫	十貫

一播種後發芽生育ノ狀況並ニ收穫成績ヲ擧クレバ左表ノ如シ

種類	試作坪數	播種期	發芽期	發芽步合	莖長	收穫期	收量	反當收量	備考
オレンジソルガム	三坪	四月一日	四月十日	約100%	七尺	六月廿七日	種實三升四合	三石四斗	
ゼルサレムコーン	三坪	同	同	〃100%	七尺	同	〃二升四合	二石四斗	
レツトケフアコーン	三坪	同	同	〃100%	八尺	六月五日	〃一升七合	一石七斗	
レツトアンバーソルガム	三坪	同	同	〃100%	七尺	六月三十日	〃三升六合	三石六斗	

高黍大島産種	三坪	同	同	〃	100%	八尺	六月廿五日	〃	三升五合	三石五斗	
高黍在來産種	三坪	同	同	〃	100%	七尺	六月五日	〃	三升四合	三石四斗	
ハンガリアンミレツト	三坪	同	四月十七日	〃	100%	一尺七寸	六月十七日	〃	八合	八斗	
ロングフエローフリントコーン	三坪	同	四月十一日	〃	七〇%	五尺五寸	六月廿九日	〃	九合	九斗	
ロングヘーロー	三坪	同	四月十日	〃	六〇%	六尺	七月二日	〃	二升五合	二石五斗	
ロングホワイトフリントコーン	三坪	同	四月十五日	〃	三〇%	四尺	七月十七日	〃	五合	五斗	
ホツイトパールポツプコーン	三坪	同	同	〃	四〇%	五尺五寸	八月三日	〃	五合	五斗	
ゴールデンビユウテイデントコーン	三坪	同	四月十四日	〃	五〇%	五尺五寸	七月三十日	〃	四合	四升	
玉蜀黍在來種	三坪	同	四月十三日	〃	九〇%	四尺五寸	六月廿九日	〃	二升四合	二石四斗	
粟蕃稱ジマラバン	三坪	四月十三日	四月二十日	〃	100%	四尺五寸	七月廿二日	〃	三升六合	三石六斗	
同　ジマオ	三坪	同	四月廿二日	〃	100%	五尺	同	〃	三升六合	三石六斗	
同　ザリ	三坪	同	四月二十日	〃	100%	五尺五寸	七月廿三日	〃	四升	四石	
バザリ變種ノ一	三坪	八月十九日	八月廿四日	〃	九〇%	五尺	十一月十二日	〃	八合	八斗	
同　二	三坪	同	八月廿五日	〃	八〇%	五尺	十一月十五日	〃	八合五勺	八斗五升	
同　三	三坪	同	八月廿六日	〃	七〇%	四尺	十一月十七日	〃	三合五勺	三斗五升	
グラム變種ノ一	三坪	同	八月廿五日	〃	九〇%	—	—		—	—	水害ニ遇ヒ成績不明ニ終ル
同　二	三坪	同	八月廿六日	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　三	三坪	同	九月廿五日	〃	九〇%	—	—		—	—	同
同　四	三坪	同	同	〃	九〇%	—	—		—	—	同
同　五	三坪	同	同	〃	九〇%	—	—		—	—	同
同　六	三坪	同	同	〃	九〇%	—	—		—	—	同
同　七	三坪	同	同	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　八	三坪	同	同	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　九	三坪	同	同	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　十一	三坪	同	同	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　十二	三坪	同	同	〃	八〇%	—	—		—	—	同
同　十三	三坪	十月三日	十月十三日	〃	九〇%	一尺二寸	大正二年二月二十日	〃	三合	三斗	
エジプチアンクロバー(採種試驗)	三坪	同	同	〃	六五%	二尺五寸	二月七日	〃	一合五勺	一斗五升	

レンテイル(採種試驗)	三坪	同	同	〃 六〇%	一尺五寸	一月二十日	〃 二合五勺	二斗五升	
テフマメ(採種試驗)	三坪	四月一日	四月八日	〃 九〇%	五尺	二月十日	〃 四升	四石	
高黍印度種	三坪	十月三日	十月八日	〃 八〇%	五尺	二月五日	〃 三升五合	三石五升	
燕麥印度種	三坪	十二月一日	十二月七日	〃 九五%	四尺	三月廿六日	〃 五升四合	五石四斗	
野草フシゲチガヤ	三坪	四月二十日	四月廿五日	〃 九〇%	三尺	七月十日	青刈 四貫五百匁	貫 四五〇・〇〇〇	
同 スヾメノコビエ	三坪	同	四月廿七日	〃 七〇%	二尺	同	〃 貫 四・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇	
同 メヒジハ	三坪	同	同	〃 八〇%	三尺五寸	同	〃 三・五〇〇	三五〇・〇〇〇	
同 ハヒキビ	三坪	同	四月廿五日	〃 九五%	三尺	同	〃 六・五〇〇	六五〇・〇〇〇	
同 ノビエ	三坪	同	四月廿七日	〃 八〇%	二尺	同	〃 三・五〇〇	三五〇・〇〇〇	
同 ネズミノチ	三坪	同	四月廿六日	〃 七〇%	四尺	同	〃 三・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇	
同 フタマタメヒシバ	三坪	同	同	〃 八〇%	三尺	同	〃 三・五〇〇	三五〇・〇〇〇	
同 アブラスヽキ	三坪	同	同	〃 九〇%	四尺	同	〃 六・五〇〇	六五〇・〇〇〇	
同 ギヨウギシバ	三坪	同	同	〃 九〇%	二尺	同	〃 三・五〇〇	三五〇・〇〇〇	
同 タツノツメガヤ	三坪	同	同	〃 八〇%	二尺五寸	同	〃 四・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇	
同 ツノアヒグサ	三坪	同	同	〃 七〇%	四尺	同	〃 五・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	
同 ヒメガルカヤ	三坪	同	四月廿七日	〃 八〇%	三尺	同	〃 五・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	
聖護院蕪菁	三坪	十一月五日	十一月十二日	〃 九五%	二尺	二月三日	四・九五〇	四九五・〇〇〇	
湖南蕪菁	三坪	同	同	〃 九五%	二尺五寸	同	六・七五〇	六七五・〇〇〇	
ビート印度種變種ノ一	三坪	八月十九日	八月廿七日	〃 八〇%	—	—	—	—	水害ニ遇ヒ成績不明ニ終ル
同　二	三坪	同	同	〃 八五%	—	—	—	—	同
エルトオバート	三坪	四月十五日	四月廿五日	〃 八〇%	二尺	七月十日	七・五〇〇	七五〇・〇〇〇	
マルサロング	三坪	同	同	〃 八五%	二尺二寸	同	七・〇〇〇	七〇〇・〇〇〇	
チヤンピオンエーロー	三坪	同	四月廿五日	〃 九〇%	二尺二寸	同	六・七〇〇	六七〇・〇〇〇	

備考　試驗作物中收穫期ノ大正二年ニ亘ルモノアリ便宜上茲ニ其成績ヲ擧ゲタリ

以上ノ外ニ三ノ種類ニ就キ其ノ播種時期ト收穫ノ關係ヲ知ランガ爲メ期節試驗ヲ行ヒタリ其試驗結果ヲ擧クレバ左ノ如シ

農商部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

播種期	三月一日	四月一日	五月一日	六月一日	七月一日
發芽期	三月十日	四月十三日	五月九日	六月七日	七月七日
發芽歩合	約九〇%	約九〇%	約一〇〇%	約一〇〇%	約一〇〇%
莖長	四尺五寸	五尺五寸	五尺	五尺	四尺
試作坪數	三坪	三坪	三坪	三坪	三坪
收穫期	五月七日第一回刈 六月六日第二回刈 六月二十九日第三回刈 七月二十ヵ日第四回刈 八月二十日第五回刈	五月二十二日第一回刈 六月十二日第二回刈 六月二十九日第三回刈 七月十五日第四回刈 八月二十日第五回刈	六月二十日第一回刈 八月八日第二回刈 九月十九日第三回刈 十月八日第四回刈	七月二十九日第一回刈 八月二十二日第二回刈 九月二十日第三回刈	九月一日第一回刈
收穫回數	五回	五回	四回	三回	一回
收穫	第一回收量 貫八・〇〇〇 第二回收量 九・三〇〇 第三回收量 八・二五〇 第四回收量 八・四八〇 第五回收量 七・二〇〇	第一回收量 貫八・三二〇 第二回收量 七・三〇〇 第三回收量 五・二〇〇 第四回收量 五・〇〇〇 第五回收量 五・七六〇	第一回收量 貫九・六〇〇 第二回收量 八・二〇〇 第三回收量 五・八〇〇 第四回收量 四・五〇〇	第一回收量 貫一〇・四〇〇 第二回收量 七・五〇〇 第三回收量 四・三〇〇	第一回收量 貫四・三〇〇
收量合計	四一・二三〇	三一・五八〇	二八・三〇〇	二二・一〇〇	四・三〇〇
反當收量	四一、二三〇・〇〇〇	三一、五八〇・〇〇〇	二八、三〇〇・〇〇〇	二、二一〇・〇〇〇	四三〇・〇〇〇

パールミレット期節試驗（青刈）

播種期	三月一日	四月一日	五月一日	六月一日	七月一日
發芽期	三月七日	四月八日	五月六日	六月七日	不發芽
發芽歩合	約九〇%	約九〇%	約一〇〇%	約九〇%	
莖長	五尺五寸	五尺五寸	五尺五寸	四尺	
試作坪數	三坪	三坪	三坪	三坪	
收穫期	四月二十九日第一回刈 六月二日第二回刈 六月二十五日第三回刈 七月十五日第四回刈 八月八日第五回刈	五月二十二日第一回刈 六月十二日第二回刈 六月二十九日第三回刈 七月十五日第四回刈 八月八日第五回刈	六月二日第一回刈 七月五日第二回刈 七月二十九日第三回刈 八月十九日第四回刈	八月八日第一回刈 九月十三日第二回刈	

收穫回數	收穫	收量合計	反當收量
五回	第一回收量 七・四八〇貫 第二回收量 九・三〇〇 第三回收量 六・九八〇 第四回收量 五・四〇〇 第五回收量 五・二八〇	三四・四四〇	三、四四四・〇〇〇
五回	第一回收量 八・三二〇貫 第二回收量 七・三〇〇 第三回收量 五・二〇〇 第四回收量 五・八〇〇 第五回收量 五・五六〇	三二・一八〇	三、二一八・〇〇〇
四回	第一回收量 八・九〇〇貫 第二回收量 九・一〇〇 第三回收量 六・九五〇 第四回收量 五・〇〇〇	二九・九五〇	二、九九五・〇〇〇
二回	第一回收量 四・一〇〇貫 第二回收量 三・九〇〇	八・〇六〇	八〇六・〇〇〇

玉蜀黍在來種期節試驗（青刈）

播種期	發芽期	發芽歩合	莖長	試作坪數	收穫期	收穫回數	收穫	收量合計	反當收量
三月一日	三月十五日	約四〇%	三尺五寸	三坪	四月二十九日第一回刈	一回	第一回收量 一・四五〇貫	一・四五〇	一、四五〇・〇〇〇
四月一日	四月十五日	約四〇%	三尺	三坪	五月二十二日第一回刈	一回	第一回收量 一・四〇〇貫	一・四四〇	一四四・〇〇〇
五月一日	五月十日	約七〇%	五尺	三坪	六月二十日第一回刈	一回	第一回收量 四・七〇〇貫	四・七〇〇	四七〇・〇〇〇
六月一日	六月十日	約七〇%	四尺八寸	三坪	七月十五日第一回刈	一回	第一回收量 二・七〇〇貫	二・七〇〇	二七〇・〇〇〇
發芽セズ									

マルバタケハギ期節試驗（青刈）

播種期	發芽期	發芽歩合	莖長	試作坪數
三月一日	五月二十日	約五〇%	二尺	三坪
四月一日	五月十七日	約七〇%	二尺五寸	三坪
五月一日	五月十二日	約一〇〇%	二尺七寸	三坪
六月一日	六月六日	約一〇〇%	三尺	三坪
七月一日	七月十日	約六〇%	一尺	一坪

收穫期	收穫回數	收穫	收量合計	反當收量
八月一日	一回	貫 三.三〇〇	三.三〇〇	三三〇.〇〇〇
八月一日	一回	貫 六.九〇〇	六.九〇〇	六九〇.〇〇〇
八月五日第一回刈 九月十二日第二回刈	二回	第一回收量 貫 八.五〇〇 第二回收量 五.三〇〇	一三.八〇〇	一、三八〇.〇〇〇
八月八日第一回刈 九月二十日第二回刈	二回	第一回收量 貫 八.三〇〇 第二回收量 四.〇〇〇	一二.三〇〇	一、二三〇.〇〇〇
九月二十日	一回	貫 一.〇〇〇	一.〇〇〇	一〇〇.〇〇〇

以上ノ結果ニ由テ之ヲ見ルニ「テオシント」「パールミレット」及玉蜀黍ハ三月播種セルモノ其收量最モ多ク播種時期後ルヽニ従テ其收量次第ニ減少ス然ルニ「マルバタケハギ」ハ五月及六月ニ播種セルモノ成績最モ優等ニシテ他ハ著シク之レニ劣ル即チ雨期前ニ於テ播種スルヲ最良トス

種類	播種期又ハ移植期	發芽期又ハ活着期	發芽歩合又ハ活着歩合	莖長	試作坪數	收穫期	收穫回數	收穫
ギニアグラス	三月十八日	三月二十一日	約一〇〇%	六尺	三坪	六月二十日第一回刈 七月廿一日第二回刈 八月二十日第三回刈 十月十日第四回刈 十二月三日第五回刈	五回	第一回收量 貫 九.五〇〇 第二回收量 一一.一五〇 第三回收量 九.〇〇〇 第四回收量 七.五〇〇 第五回收量 五.〇〇〇
ジョンソングラッス	二月十日	二月十七日	約一〇〇%	四尺五寸	三坪	五月一日第一回刈 六月二日第二回刈 八月二十日第三回刈	三回	第一回收量 貫 八.五〇〇 第二回收量 八.八〇〇 第三回收量 六.〇〇〇
オレンジソルガム	四月一日	四月七日	約八五%	三尺八寸	三坪	五月廿五日第一回刈 七月一日第二回刈 八月十一日第三回刈	三回	第一回收量 貫 五.八〇〇 第二回收量 五.一五〇 第三回收量 三.〇二〇
ゼルサレムコーン	四月一日	四月八日	約八〇%	三尺八寸	三坪	五月廿五日第一回刈 七月一日第二回刈 八月十一日第三回刈	三回	第一回收量 貫 六.九〇〇 第二回收量 四.二五〇 第三回收量 三.一二〇
高黍大島產種	四月一日	四月五日	約九〇%	五尺	三坪	五月廿五日第一回刈 七月一日第二回刈 八月十一日第三回刈	三回	第一回收量 貫 六.二〇〇 第二回收量 五.八〇〇 第三回收量 四.〇〇〇
高黍在來產種	四月一日	四月六日	約八五%	四尺五寸	三坪	五月廿五日第一回刈 七月一日第二回刈 八月十一日第三回刈	三回	第一回收量 貫 五.三五〇 第二回收量 四.二〇〇 第三回收量 三.〇〇〇

收穫合計	貫 四二・一五〇	貫 一三・三〇〇	貫 一三・九七〇	貫 一四・二七〇	貫 一六・〇〇〇	貫 一二・五五〇
反當收量	四、二一五・〇〇〇	一、三三〇・〇〇〇	一・三九七・〇〇〇	一、四二七・〇〇〇	一、六〇〇・〇〇〇	一、二五五・〇〇〇

備考　莖長ハ第一回收穫ニ於ケル莖長ナリ

(四)　本島ニ適シタル牧草及飼料作物ノ耕種法概要

本場ニ於テ多年栽培試驗ノ結果最モ適種ト認メタル飼料作物及牧草數種ニ就キ其耕種法ノ概要ヲ左ニ記述ス

一、テオシント　Euchloena luxaurians

「テオシント」ハ「メキシコ」中央及ヒ南亞米利加ノ原產ニシテ一年生禾本科牧草ナリ草丈五尺乃至十尺ニ達シ性頗ル强健他ノ牧草ノ生育充分ナラサル土地ニモ尙成育良好ナリ適土ハ耕土深ク濕潤ニシテ肥沃ナル壤土トス繁殖ハ一ニ種子ニ由ル

下種前土壤ヲ二回以上深耕シ能ク土塊ヲ把撈ニテ粉碎シタル後反當堆肥三百貫乃至五百貫大豆粕十貫乃至十五貫ヲ基肥トシテ施用シ補肥トシテ人糞尿五十貫ヲ稀釋シ發芽後草丈五寸乃至一尺五寸ニ達セシ頃第一回其後各回收穫後第二回第三回ニ分施セバ成績良好ナリ本場ニ於テハ主トシテ新墾地一、二年間無肥料ニテ栽培シ土壤漸ク瘠薄ナルニ及ビ施肥栽培或ハ他ノ荳科牧草ト輪栽シ以テ地力ノ消耗ヲ防ケリ播種ハ三月ヨリ五月ニ亘リ反當四升乃至八升ノ種子ヲ二尺五寸ノ畦巾ニ條播シ下種後一回乃至二回除草兼中耕ヲナシ爾後犂ニテ培土ス

六月ヨリ十一月ニ亘リ葉ノミ刈取ルトキハ三回乃至五回ニ收穫シ得ルモ當場ニ於テハ主トシテ草丈六、七尺ニ達セシ頃地上一尺內外ノ處ヨリ刈リ取リ埋草トナシ醱酵セシムルヲ以テ莖部尙ホ家畜能ク好食ス反當收量青草千五百貫乃至二千五百貫トス本種ハ本島ニ於テ容易ニ採種スルコトヲ得採種ニハ寧ロ餘リ肥沃ナラサル中庸ノ土質ニシテ充分陽光ヲ受クル風害少ナキ場所ヲ可トス五月ニ下種スルトキハ十月ニ至リ開花結實スルヲ以テ十一月ヨリ十二月ノ候莖葉黃枯スルヲ

待チ刈リ取リ能ク乾燥シ葉鞘内苞皮中ヨリ種實ヲ剝離シタル後精撰ス

二、ジョンソングラス　Sorghum halepense

本種ハ本島ノ氣候風土ニ好適セル性粗剛ナル多年生熱帶牧草ノ一ニシテ地下莖往々直徑四、五分ニ達シ根ノ節毎ニ地上ニ向テ莖ヲ出シ草丈四尺乃至七尺ニ達ス葉ハ長サ一尺乃至二尺ニ及ビ其幅五分ニ達スルモノアリ如何ナル種類ノ土壤ニモ生育繁茂スレドモ殊ニ肥沃ニシテ有機質ニ富ム濕潤ナル砂質壤土ヲ最モ適地トス

十一月ヨリ翌春二三月ノ候土地ヲ整地シ基肥トシテ初年ニ反當堆肥三、四百貫大豆粕十貫内外ヲ施シタル後二尺乃至五寸ノ畦巾ニ條播若シクハ全圃ニ散播スル二法アリ前者ハ絶エズ中耕ヲ行ハザレバ葡蔔根蔓莚シ畦間ヲ縫合スルニ至ル後者ハ作條スルコトナク縱横ニ手若シクバ「ハンド、シード、ソワー」ノ如キ器械ニテ散布シタル後柴、把撈ニテ覆土シ「ローラ」ニテ少シク鎭壓シ置クベシ反當種子四斤乃至六斤ヲ下種ノ適量トスルモ牧草地速成ノ場合ニハ尙ホ二割乃至五割ヲ增播ス

下種初年ニハ收穫一回乃至二回ニ過キザルモ二年目ヨリ適當ノ降雨アルカ或ハ灌漑ヲナストキハ三回以上五回ノ收穫ヲナスコトヲ得ベシ二年目ヨリ秋季腐熟堆肥若シクハ人糞尿反當二百貫乃至三百貫或ハ粉粹大豆粕十貫乃至十五貫ヲ散施シ以テ地力ノ維持ヲ努ムヘキナリ

收穫期ハ出穗前草丈三、四尺ニ達セシ項天候ノ持續ヲ見計ヒ苅草鎌（サイズ）若シクバ馬力苅草器（モーア）ニテ收穫シ貯藏中醱酵熱發セザル程度ニ乾燥ノ温不足ヲ防クトキハ放香滋養ニ富ム品質優等ナル乾草ヲ得ヘシ

收穫四、五年ニシテ土地瘠薄トナリ宿根交叉シ老根縫合結着以テ地力衰退セシトキ或ハ脫去シテ他ノ强健ナル野草ノ掠奪繁茂スルトキハ深耕ト同時ニ未熟堆肥ノ如キヲ多量ニ鋤キ込ミ種子ヲ追播スルカ若シクハ他作物ヲ輪栽更新スルヲ可トス蕃殖ハ種子ニ由ル外地下莖ヲ採取シ之レヲ數寸ノ長サニ切リ一尺平方ニ一本位ノ割合ニ挿莖法ヲ行フモ可ナリ

本牧草ハ年中絶エス出穗開花ストモ採種ニ適當ナルハ四、五月ノ候出穗結實スルモノ最モ能ク夏期開花セシモノハ充實不充分或ハ全然登實セスシテ種子ニ適セサルモノトス

反當收量生草千百貫乃至二千百貫

三、ギニアグラス Panicum Maximum

本種ハ禾本科ニ屬スル宿根牧草ニシテ性强健如何ナル土地ニモ生育繁茂シ得ルモ肥沃ナル排水ヨキ壤土ニ最モ好適ス而シテ灌漑ノ便ヲ有シ肥培及管理宜シキヲ得ルトキハ一年三回乃至五回ノ收穫ヲナスヲ得ベシ

繁殖法ハ種子及ヒ分根法ノ二種アルモ種子ニ由ルハ採種甚ク困難ナリ之レ本種子ハ開花登實一整ナラズ加フルニ登熟種子ハ軟風ニ直チニ飛散落下シ易ケレバナリ育苗又周到ナル注意ヲ要スヘキニヨリ一般分根法ニヨルヲ良シトス即チ三、四月ノ候本圃ノ母株ヲ堀リ取リ一株二、三本ニ分根シ肥沃ナル土壤ニ畦巾二尺乃至二尺五寸株間一尺内外ニ移植シ活着度稀薄ナル水肥ヲ一、二回施ストキハ能ク生育繁茂スヘシ

栽培上必要ナル要件ハ追肥及灌漑ニシテ之等有無ノ如何ハ生育及ヒ收量上ニ大ナル影響ヲ及ホスヘキニヨリ圃地ノ撰定及ビ補肥ニ特ニ注意ヲ要ス

六月ヨリ十一月ニ亘リ出穗二、三週前草丈五尺乃至六尺ニ達シ莖葉未ダ硬化セサルニ先チ地上五、六寸内外ノ處ヨリ禾鎌ニテ刈穫シ生草及乾草ニ製造ス

反當收量生草千八百貫乃至千五百貫トス

四、高　黍　Sorghum vulgare

本場栽培ノ品種ハ本島在來種及大島種ニシテ草丈五尺乃至一丈ニ達シ性强健如何ナル種類ノ土壤ニモ好適ス三月乃至五月ノ候反當四舛乃至六舛ノ種子ヲ下種ス

農業部農業試験所 1895

六月ヨリ八月ニ亘リ二回乃至三回刈取リ青草トシテ飼料ニ供ス其ノ他耕種方法ハ「テオシント」ニ異ナラス

反當收量生草九百貫乃至千二百貫トス

五、アルファルファ　Medicago sativa

本種ハ西南部亞細亞ノ原産ニシテ多年生荳科牧草ナリ主根ノ發育甚ダ長大ナルヲ以テ旱害ヲ蒙ルコト稀ナリ然レドモ土壤三十六時間以上滯水スル土地又ハ强粘土若シクハ地下水ノ高キ土地ニシテ下層ニ固キ盤ヲ有スル土地ハ栽培ニ適セズ適地ハ有機質ヲ多量ニ含有スル輕鬆ナル砂質壤土ニシテ排水良好ナル土壤ニ最モ好適ス土地ノ整地ハ他牧草ヨリ一層懇到ナルヲ要ス殊ニ雜草ノ除去ニハ特ニ注意ヲ拂ハサル可カラズ之レ本牧草ハ播種後一年内外ハ甚ダ幼弱ニシテ往々他ノ雜草ニ壓倒全滅サレ易キヲ以テナリ之レヲ以テ常ニ雜草除去ニ努メ又適宜ノ灌漑ニ意ヲ拂ハザル可カラズ肥料ハ基肥トシテ反當堆肥三百貫乃至六百貫ヲ施シ追肥トシテ年二三回腐熟堆肥二三百貫ヲ施スヲ可トス畦巾一尺五寸乃至二尺ニ畦立テ反當四斤乃至五斤ノ割ニテ條播ス全圃ノ二三分開花シタル時ハ收穫ノ適期ト見做シ刈取リ青草或ハ乾草トナストキハ他牧草ニ見ル能ハサル佳良ナル香氣ト滋養ニ富メル飼料ヲ得ヘシ第一回收穫後ハ生育一層速カニシテ灌漑ノ便ヲ有シ肥培管理宜キヲ得ルトキハ年五回乃至八回ノ收穫ヲナスコト敢テ難カラズ

反當收量青草六百貫乃至千二百貫

六、マルバタケハギ　Alysicarpus vaginalis

本種ハ本島南部地方各地ニ自生セル荳科野草ニシテ草丈三尺五寸乃至四尺五寸ニ達シ性極メテ强ク如何ナル瘠薄地或ハ乾燥地ニモ能ク生育繁茂シ且耐旱性强シ本場ニ於テハ明治四十三年以來之レガ培養ヲ行ヒシ結果現今生草或ハ乾草兩用ニ好適シ共ニ家畜之レヲ好食ス殊ニ乾草ハ色澤優美一種言フ可カラザル芳香ヲ放チ「アルファアルファ」ニ劣ラス唯少シク莖葉粗硬ノ缺點アリ栽培至テ容易ニシテ二月乃至五月ノ候土地ヲ整地シ基肥トシテ反當リ堆肥三百貫ヲ施用シ二尺ノ

農業部農業試驗所

畦巾ニ條播若シクハ手或ハ器械ニテ散播シ柴把撈及「ローラ」ニテ覆土鎮壓シ置クコト「ジョンソンクラス」ニ異ナラス

種子ハ六七月ノ候發芽シ十月ニ至リ開花ス

收穫ハ開花前或ハ開花初期地上五、六寸内外ノ處ヨリ刈リ取ルトキハ青草或ハ綠色ニシテ芳香ヲ有スル滋養ニ富ム乾草ヲ得ヘシ收穫適期ヲ失フトキハ莖葉硬化シ下葉漸次落下スヘキニヨリ適期ヲ逸セザルコトニ注意ヲ要ス

採種又容易ニシテ十一月ノ候結莢落葉スルニ及ヒ刈取リ能ク乾燥シ莢實ノ儘之ヲ搔キ取リ輕ク臼ニテ搗キ箕ニテ精撰ス

反當收量生草三百五十貫乃至八百貫

七、菾菜 Beta vulgaris

菾菜ハ藜科ニ屬スル越年生草本ナリ根ノ形狀ニハ長形隨圓形及ヒ球形アリ根塊皮色ニ紅色、黃色及橙黃色アリテ橫斷面ハ多少輪紋ヲ現ハスヲ常トス多クハ紅色ノ輪紋ナレトモ或ルモノハ黃色輪ナリ蕪菁ノ如ク越年シテ莖ヲ抽出シ花ヲ開キ他花受精ニ據リ種子ヲ生ズ

本島ニ於テ最モ能ク適スル飼料用菾菜ハ「コルサロング」及ヒ「エルト、オバート」ノ二種トス

本場ニ於テ後期作物トシテ十月ヨリ十一月ニ亘リ作付シ冬期生草缺乏時期ニ莖葉共ニ飼料ニ供用ス風味優良比較的貯藏ニ耐ヘ甘藷ト共ニ冬期飼料作物ノ主位ヲ占ム

適土ハ耕土深キ砂質壤土ニシテ下種前深耕懇到ニ整地シ基肥トシテ反當堆肥三百貫木灰五貫乃至十貫ヲ施肥ス

二尺五寸ノ畦巾ニ反當種子二斤乃至四斤ヲ點播ス

發生後ハ漸次間引キ根ノ大サ相當ノ距離ヲ保タシムルヲ要ス

反當收量千貫乃至一千五百貫ヲ中庸ノ收量トス

第三　牧草種苗配布ニ關スル事項

從來本場ニ於テ試作ノ結果適種ト認メタル牧草類ニ就テハ之ガ栽培普及奬勵ノ目的ヲ以テ明治四十五年ヨリ島內各廳及當業者ニ配布スルコト、セリ今明治四十五年ニ於テ配布セシ牧草ノ種類及數量竝ニ其配布先ヲ擧クレバ左ノ如シ

配布先	配布牧草種類及數量 ギニアグラス宿根	テチシント種子	ジョンソングラス種子	マルバタケハギ種子	パールミレット種子
臺北廳	二〇〇株	七斤	五斤	七斤	二斤
桃園廳	二〇〇	八	一三	一三	二
宜蘭廳	二〇〇	七	五	七	二
新竹廳	二〇〇	八	五	八	二
臺中廳	二〇〇	八	五	八	二
南投廳	二〇〇	七	五	八	二
嘉義廳	二〇〇	八	五	八	二
臺南廳	二〇〇	八	五	八	二
阿緱廳	二〇〇	八	五	七	二
花蓮港廳	二〇〇	七	五	七	二
臺東廳	二〇〇	七	五	七	二
澎湖廳	二〇〇	七	五	七	二
大目降糖業試驗場	一、〇〇〇	—	五 一、〇〇〇株	—	—
吉野村移民指導所	一〇〇	五	五斤	五	二
安平鎭製茶試驗場	—	—	—	二	—
阿緱廳血清作業所	—	—	—	—	二

第四　場內植物分布調查ニ關スル事項

本場構內ニ自生スル野草ニシテ家畜ノ飼料ニ適スル種類敢テ鮮シトセズ是等野草ニ就テハ栽培上其經濟的價値ヲ知ラン

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ガ爲メ其種子ヲ採收シテ一般牧草ト共ニ試作ヲ行ヒ來レリ（牧草栽培試驗ニ關スル事項記事參照）然ルニ近年本場ニ於ケル實驗ニ依リ野生ノ樹木ニシテ其枝葉ノ動物飼料ニ適スル種類亦少カラザルヲ知ル此ノ如ク野生ノ草木ニシテ動物ノ飼料ニ供シ得ベキ種類ハ今後ノ研究調査ト共ニ益々其數ヲ增加セン唯其栽培上經濟的ニ有利ナルヤ否ヤハ一ニ實驗ノ結果ヲ俟テ始メテ知ルベキノミ本場構內ニ分布スル植物ノ調査ハ以上ノ事項ト密接ノ關係アルト共ニ放牧地利用上最モ必要ノ事項ニ屬スルヲ以テ明治四十四年及同四十五年ニ於テ之ガ調査ヲ行ヒタリ今茲ニ其調査シ得タル植物ノ種類ヲ左ニ列記ス

但シ採集植物ノ命名ハ主トシテ臺灣總督府技師川上瀧彌及臺灣總督府農事試驗場技手澤田兼吉ノ命名ニ依ル

禾本科

番號	學名	和名
一	Andropogen aciulatus	オキナハミチシバ
二	Andropogen hematidus	シマオガルガヤ
三	Andropogen goeringii	オガルガヤ
四	Andropogen contortus	アカヒゲガヤ
五	Andropogen micranthus	ヒメアブラススキ
六	Arundo formosana	ヒナヨシ
七	Apluda mutica	ヒメガルガヤ
八	Arundinella setosa	ヒ[illegible]ガヤ
九	Bambusa utenostachys	シ[illegible]チク

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

一〇	Cynodon dactylon	ギョウギシバ
一一	Digitaria barbata	フタマタメヒヂワ
一二	Digitaria sangiunalis	ヒメジワ
一三	Digitaria violascens	ムラサキメヒジハ
一四	Dactyloctenium aegyptiacum	タツノツメガヤ
一五	Eragrostis interrupta var teunissima	
一六	Elausine indica	オヒヂハ
一七	Erianthus pollinioides	シマススキ
一八	Inupexata arundnacea var koenigii	フシゲチガヤ
一九	Isachne australis	チゴザサ
二〇	Ischaemum ciliare	ヒメカモノハシ
二一	Leptochloa chinensis	アゼガヤ
二二	Manisuris granularis	ヤヘガヤ
二三	Miscanthus japonicus	トキハススキ
二四	Miscanthus sinensis	ススキ
二五	Oplismenus compositus	エタウチヂミザサ
二六	Panicum distachyum	ニクキビ
二七	Panicum Crus-Galli	ノビエ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

二八	Panicum Crus-Galli var Submaticum	タビヱ
二九	Panicum neurodes	ササキビ
三〇	Panicum patens	ヒメチゴザサ
三一	Panicum repens	ハヒキビ
三二	Panicum villosum	ビロウドキビ
三三	Paspalum scrobiculatum	スズメノコヒエ
三四	Phragmites communicus	ヨシ
三五	Pogonatherum saccharoideum var monandrum	イタチガヤ
三六	Rothboellia exatlata var appendiculata	ツノアイアシ
三七	Setaria glauca	キンエノコロ
三八	Spinifex squarrosus	ハリハマムギ
三九	Sporobolus elongatus	ネヅミノオ
	荳科	
四〇	Abrus precatorius	タウアヅキ
四一	Acacia conbusa	ソウシジユ
四二	Alysicarpas vaginalis	マルバタケハギ
四三	Atylosia scarabaoidas	ビロウドヒメウヅ
四四	Cassia occidentalis	ハブサウ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

四五	Crotalaria striata	オホミツバマメ
四六	Crotalaria verrucosa	オホバタヌキマメ
四七	Desmodium gangeticum	タマツナキ
四八	Erythrina indica	シトウジユ
四九	Galactia formosana	ウスバハギカヅラ
五〇	Indigofera Anil	ナンバンコマツナギ
五一	Indigofera hirsuta	タヌキコマツナギ
五二	Mimosa pudica	オヂキサウ
五三	Pueraria thumbergiana	ク　ズ
五四	Sesbania aegyptiaca	ツノクサネム
五五	Tephrosia purpurea	ナンバンクサフヂ
五六	Uraria crinita	オホバノフヂボグサ
	菊　科	
五七	Artemisia annua	クソニンジン
五八	Artemisia japonica	オトコヨモギ
五九	Artemisia vulgaris var indica	ヨ　モ　ギ
六〇	Artemisia capillaris	カハラヨモギ
六一	Bidens bipinnata	センダングサ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

六二	Bidens pilosa	シロバナノセンダングサ
六三	Blumea balsamifera	カイナウコウ
六四	Blumea lacera	ヤヘヤマカウゾリナ
六五	Cnicus brevicaulis	ハマアザミ
六六	Cnicus japonicus	ノアザミ
六七	Elephantopus scaber	イガカウゾリナ
六八	Emilia sonchifolia	ウスベニニガナ
六九	Eupatorium japonicum	ヒヨドリバナ
七〇	Eupatorium reevessi	シマフヂバカマ
七一	Gnaphalium multiceps	ハハコグサ
七二	Lactuca debilis	ヂシバリ
七三	Lactuca sororia	ムラサキニガナ
七四	Lactuca versicolor	タカサゴサウ
七五	Myriogyne minuta	タネヒリグソ
七六	Siegesbeckia orientalis	メナモミ
七七	Solidago virga-aurea	アキノキリンサウ
七八	Sonchus arvesis	ハチヂヤウナ
七九	Sonchus olevaceus	ノゲシ

八〇	Spilanthes acmella	センニチモドキ
八一	Vernonia cinerea	ムラサキムカシヨモギ
八二	Vernonia gratiosa	シマムカシヨモギ
八三	Wedelia calendulacea	クマノギク
八四	Zanthium strumarium	オナモミ
	莎草科	
八五	Cyperus digitatus	オホハハキガヤツリ
八六	Fimbristylis diphylla	テンツキ
八七	Hypolytrum lotifolium	スゲガヤ
	薑科	
八八	Alpinia nutans	ゲツタウ
八九	Canna indica var orientalis	ダンドク
	風露草科	
九〇	Oxalis corniculata	カタバミ
	莧科	
九一	Achyranthes bidentata	井ノコヅチ
九二	Aerua scendens	ツルゲイトウ
九三	Alternanthera nodflora	ホソバノツルノゲイトウ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

九四 Alternanthera sessilis ツルノゲイトウ

九五 Amarantus spinosus ハリビユ

九六 Amarantus viridis アヲビユ

九七 Celosia argentea ノゲイトウ

一一 大戟科

九八 Bischoffia javanica カタンノキ

九九 Bridelia tonentosa カンコモドキ

一〇〇 Euphorbia pilulifera シマニシキサウ

一〇一 Euphorbia splendens ハナキリン

一〇二 Gelonium aeguoreum オホバツゲ

一〇三 Macaranga tanarius オホバギ

一〇四 Mallotus moluccanus ヤンバルアカメガシハ

一〇五 Phyllanthus niruri キダチコミカンサウ

一〇六 Phyllanthus reticulatas シマコバンノキ

一〇七 Phyllanthus sp

一〇八 Ricinus comminis タウゴマ

一〇九 Sapium sebiferum ナンキンハゼ

一〇 石竹科

一一〇 Dianthus superbus カハラナデシコ

一一一 Drymaria cordata ヤンバルハコベ

茜草科

一一二 Gardenia florida クチナシ

一一三 Oldenlandia corymbosa タマザキフタバ

一一四 Paederia tomentosa ヘクソカヅラ

一一五 Psychotria serpens シマタマカヅラ

一一六 Randia dumentorum ハリザクロ

一一七 Rubia cordifolia アカネ

一一八 Serissa foetida ハクテウゲ

一一九 Wendlandia paniculata ケアカミヅキ

唇形科

一二〇 Ajuga formosana オホジユウニヒトヘ

一二一 Anisomeles ovata ブソロイバナ

一二二 Hyptis capitata イガニガクサ

一二三 Hyptis suaveolens ニホヒニガクサ

一二四 Leonurus sibiricas メハジキ

一二五 Mentha aruensis メグサ(ハクカ)

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

一二六	Mesona procumbens	センソウ
一二七	Nepeta Glechoma	カキトボシ
一二八	Ocimum sanctum	カミバウキ
一二九	Prunella vulgaris	ウチボグサ
一三〇	Salvia rosea	アカサルビヤ
	錦葵科	
一三一	Abutilon asiaticum	タイワンイチビ
一三二	Hibiscus multabilis	フヤウ
一三三	Hibiscus tiliaceus	ヤマアサ
一三四	Sida acuta	ホソバキンゴジクワ
一三五	Sida humilis	キンゴジクサ
一三六	Sida rhombifolia	キンゴジクワ
	蟹草科	
一三七	Lygodium japonicum	カニクサ
	旋花科	
一三八	Cuscuta chinensis	マメダヲシ
一三九	Dichondra repens	アフヒゴケ
一四〇	Hewitta bicolor	ツリガネヒルガホ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

一四一 Ipomaea biloba ムチハカヅラ

一四二 Ipomaea congesta ノアサガホ

一四三 Ipomaea palmata モミヂヒルガホ

一四四 Jacquemontia paniculata フサヒルガホ

菩提樹科

一四五 Corchorus olitorius シマツナメ

一四六 Triumfetta rhomboidea カヂバラセンサウ

薔薇科

一四七 Fragria indica ヘビイチゴ

棕櫚科

一四八 Calamus margaritae トウ

一四九 Phoenix hanceana ソテツジユロ

鴨跖草科

一五〇 Commelina nudiflora シマツユクサ

百合科

一五一 Hemerocallis tulva ヤブカンザウ

一五二 Lilium philippinense タカサゴユリ

一五三 Smilax stenpetala サンキライ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

蕁麻科

一五四	Bochmeria platyphylla var stricta	ホザキヒメマヲ
一五五	Brussonetia papyrifera	カヂノキ
一五六	Ficus retusa	ガヅマル(タイワンマツ)
一五七	Humurus japonicus	カナムグラ
一五八	Laportea pterostigma	イラクサノキ
一五九	Morus alba	クハ
一六〇	Pelliona scabra	トキハウハバミサウ
一六一	Pouzolzia elegans	コケツルマオ
一六二	Pouzolzia indica	オホバヒメマヲ

蓼科

一六三	Polygonum chinense	ツルソバ
一六四	Polygonum perfoliatum	イシミカハ
一六五	Polygonum sentisosum	ママコノシリヌグヒ

藜科

一六六	Chenopodium album	アカザ
一六七	Koehia seoparia	ハハキギ

十字科

一六八	Nasturtium montanum	イヌガラシ

白花菜科

一六九 Gynandropsis pentaphylla フウテウサウ

防已科

一七〇 Stephania hernandifolia ハスノハカヅラ

無患樹科

一七一 Cardiospermum halicacabum フウセンカヅラ

一七二 Sapindus mukurosi ムクロジ

葡萄科

一七三 Vitis formosana ドクブダウ

一七四 Vitis heterophylla ノブダウ

一七五 Vitis japonica ビンボウカヅラ

繖形科

一七六 Hydrocotyle asiatica ツボクサ

一七七 Hydrocotyle conferta シマチドメグサ

一七八 Hydrocotyle rotundifolia チドメグサ

馬鞭草科

一七九 Callicarpa japonica ムラサキシキブ

一八〇 Clerodendron paniculatum リウセンクワ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

一八一　Verbena officinalis　クマツヅラ

一八二　Vitex negundo　ニンジンボク

一八三　Vitex trifolialata var unifoliata　ハマゴウ

水蓑衣科

一八四　Codonacanthus pauciflorus　ツノツクバネ

一八五　Dieliptera longflora　シマハグロサウ

一八六　Ebermaiera concinnula　シマサギゴケ

一八七　Hypoestes purpurea　ムラサキシタイシヤウ

一八八　Justicia procumbens　キツネノマゴ

一八九　Strobilonthes flaccidifolius　ヤマアヰ

茄科

一九〇　Capsicum minimum　ヒメタウガラシ

一九一　Datura alba　テウセンアサガホ

一九二　Lycium chinense　クコ

一九三　Lycopersicum esculentum　アカナス

一九四　Solanum biflorum　メジロホホヅキ

一九五　Solanum indicum　テンヂクナスビ

車前科

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

一九六　Plantago major　オホバコ

白前科

一九七　Aselepias curassavica　トウワタ

木賊科

一九八　Equisetum debile　シマトクサ

馬齒莧科

一九九　Portulaca oleracea　スベリヒユ

楝科

二〇〇　Melia azedarach　センダン

漆樹科

二〇一　Buchanania arborscens　ヤマソワヤ

二〇二　Rhus semi-alata　フシノキ

千屈菜科

二〇三　Lagerstroemia subcostaia　シマサルスベリ

葫蘆科

二〇四　Trichosanthes quenquerugulata　シマカラスウリ

馬錢科

二〇五　Buddleia asiatica　タイワンフヂウツキ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

桃金孃科

二〇六 Decaspermum paniculatum モチアデク

二〇七 Psidium Guyava バンジラウ（ナッパ）

野牡丹科

二〇八 Astronia pulchra シマノボタン

紫草科

二〇九 Cordia myxa イヌチシヤ

二一〇 Ehretia formosana タイワンチシヤノキ

二一一 Ehretia macrophylla マルバチシヤノキ

二一二 Tournefortia sarmentosa キダチスナビキ

忍冬科

二一三 Viburnum lugons（?） ガマズミ

檀香科

二一四 Champereia Griffithiana カナビキボク

木蘭科

二一五 Micheria compressa ヲガタマノキ

藤黄科

二一六 Calophyllum inophyllum ヤラボ

二一七	Garcinia multiflora	タイワンフクギ
	梧桐科	
二一八	Pterospermum formosanum	シマウラジロノキ
二一九	Sterculia platanifolia	アヲギリ
	使君子科	
二二〇	Terminalia cattopa	コハテイシ
	磯松科	
二二一	Plumbago zeylanica	シマナガジラミ
	柿樹科	
二二二	Diospyros utilis	ケガキ(クロガキ)
	樟科	
二二三	Cassytha filiformis	シマネナシカヅラ
二二四	Machilus thumbergii	イヌグス
	楊柳科	
二二五	Salix warburgii	タイワンヤナギ
	即心蘭科	
二二六	Ophiopgon japonicus	ジヤノヒゲ
	薯蕷科	

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

二二七 Dioscorea japonica ヤマノイモ

二二八 Dioscorea rhipogonioides ソメモノイモ

露兜樹科

二二九 Pandanus odoratissimus リントウ(シマタコノキ)

呂藻科

二三〇 Spirodela polyrrhiza ウキクサ

卷柏科

二三一 Selaginella involvens イハヒバ

石松科

二三二 Psilotum triquetrum マツバラン

瓦韋科

二三三 Asplenium nidus オホタニワタリ

桔梗科

二三四 Wahlenbergia gracilis ヒナギキヤウ

芸香科

二三五 Murraya exotica ゲッキツ

鼠李科

二三六 Paliurus ramosissimus ハマナツメ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

夾竹桃科

二三七 Cerbera odollam ミフクラギ

二三八 Tabernaemontana coronaria サンユウクワ

紫茉莉科

二三九 Pisonia inermis トゲナシカヅラ

胡椒科

二四〇 Piper betle キンマ

山茂樫科

二四一 Helicia formosana タイワンヤマモガシ

瑞香科

二四二 Daphne championi ヒメヂンチヤウゲ

雨久花科

二四三 Monochoria vaginalis コナキ

天南星科

二四四 Alocasia macrorrhiza マンシウイモ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

大正三年三月十二日印刷
大正三年三月十四日發行

臺灣總督府殖産局

臺北城内西門街四番戸
印刷人　小塚兼吉

臺北城内北門街三丁目七番戸
印刷所　小塚印刷工場

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895